

環境相、服の大量廃棄見直しを

関連企業と意見交換

2020/8/26 11:36 (JST) | 8/26 11:39 (JST) updated

©一般社団法人共同通信社

トピック

経済

東京株式 7日11時

為替相場 7日 (日本時間11...

「決定した事実はない」

このトピックを見る >

ラベル②

#経済

#暮らし・話題

#関連企業

#ユニクロ

#衣料品

#服



衣料品関連業界の関係者と意見交換する小泉環境相（右端）＝26日午前、環境省

小泉進次郎環境相は26日、カジュアル衣料品店「ユニクロ」を展開するファーストリテイリングなど衣料品関連企業との意見交換会に出席し、売れ残り商品が大量廃棄される現状の見直しを求めた。「作られた服の半分は一度も着られずに捨てられる。こんな状況を放置して良いわけがない」と述べた。

衣料品を巡っては、製造過程で大量の汚染水や二酸化炭素（CO2）が生じる上、売れ残り商品の多くを未使用のまま処分する企業もある。

参加した東レや衣料品大手のH&Mジャパンなどは、省エネ素材の導入やリサイクルの徹底などに取り組んでいることを説明した。

高校生オンライン取材会



2020年9月6日(日)
オンライン取材会
出演：佐渡裕さん

、総文祭・部活ロス、の高校生を励ます企画。趣旨に賛同しボランティアで参加する指揮者の佐渡裕さんのインタビュー会をYoutube配信！

[ここをクリック](#)

2020年7月29日

各位

株式会社 **ブルボン**

プラスチック包装削減のご意見と署名の受領について

平素はブルボン商品に格別なるご愛顧を賜り厚くお礼を申し上げます。

この度、東京都在住の高校生の方から「プラスチックごみが増えるお菓子の過剰包装をやめてほしい」とのご意見と賛同する署名をお届けいただきました。

当社でも、かねてより環境保全に関する活動を種々継続して進めてきており、この度のプラスチックごみの削減の趣旨につきましては、全くその通りであり当社と方向性が一致するものと考えています。当社の環境保全活動については、ホームページにも掲載している環境報告書等を通じ、お伝えしてきたところではありますが、お客様に改めてお伝えするため下記にプラスチック包装についての当社取り組みをまとめました。ご高覧賜りたくご案内を申し上げます。

近年、世界的な課題として取り上げられているマイクロプラスチックによる海洋汚染に対して社会で提起されている商品の過剰包装防止や使い捨てプラスチック製品の代替化などについて、当社でもそれぞれの立場で今まで以上にスピードを上げた対応が必要であると考えています。

商品を流通させるために、包装に求められる必要な要件を満たしながら実施可能な新技術や工夫を取り入れ、継続した低減活動を行っていくことがより一層求められていると感じています。これからも思いを一つにする共存の考えを深めながら継続して取り組んでまいります。

この度いただきました貴重なご意見は、当社が継続して取り組んできた活動の意味がさらに大きく、深くなったものと捉えています。

安全で安心な商品を安定してお客様へお届けできるように、また、商品を喜んでくださるお客様、その商品を心込めて作った社員、お互いにイメージが思い浮かぶように生産と消費をつなぎながら務めてまいりますので、引き続きのご支援をよろしく申し上げます。

1. 包装につきましては食品の保護や安全性の確保、トレーにつきましてはお菓子の特性に応じて商品の状態を保持するため、個包装につきましては少子高齢化社会や個食の時代的ニーズに合わせて外装を開封後の商品保存を可能とするためや、楽しくシェアしてご利用いただくときにも安心なアレルギー表示をお伝えするなどの目的で使用しています。

2020年7月29日

各 位

株式会社 **ブルボン**

プラスチック包装削減のご意見と署名の受領について

平素はブルボン商品に格別なるご愛顧を賜り厚くお礼を申し上げます。

この度、東京都在住の高校生の方から「プラスチックごみが増えるお菓子の過剰包装をやめてほしい」とのご意見と賛同する署名をお届けいただきました。

当社でも、かねてより環境保全に関する活動を種々継続して進めてきており、この度のプラスチックごみの削減の趣旨につきましては、全くその通りであり当社と方向性が一致するものと考えています。当社の環境保全活動については、ホームページにも掲載している環境報告書等を通じ、お伝えしてきたところでありますが、お客様に改めてお伝えするため下記にプラスチック包装についての当社取り組みをまとめました。ご高覧賜りたくご案内を申し上げます。

近年、世界的な課題として取り上げられているマイクロプラスチックによる海洋汚染に対して社会で提起されている商品の過剰包装防止や使い捨てプラスチック製品の代替化などについて、当社でもそれぞれの立場で今まで以上にスピードを上げた対応が必要であると考えています。

商品を流通させるために、包装に求められる必要な要件を満たしながら実施可能な新技術や工夫を取り入れ、継続した低減活動を行っていくことがより一層求められていると感じています。これからも思いを一つにする共存の考えを深めながら継続して取り組んでまいります。

この度いただきました貴重なご意見は、当社が継続して取り組んできた活動の意味がさらに大きく、深くなったものと捉えています。

安全で安心な商品を安定してお客様へお届けできるように、また、商品を喜んでくださるお客様、その商品を心込めて作った社員、お互いにイメージが思い浮かぶように生産と消費をつなぎながら務めてまいりますので、引き続きのご支援をよろしく申し上げます。

1. 包装につきましては食品の保護や安全性の確保、トレーにつきましてはお菓子の特性に応じて商品の状態を保持するため、個包装につきましては少子高齢化社会や個食の時代的ニーズに合わせて外装を開封後の商品保存を可能とするためや、楽しくシェアしてご利用いただくときにも安心なアレルギー表示をお伝えするなどの目的で使用しています。

2. 当社での包装資材の調達におきましては、SDGs（持続可能な開発目標）との関連を意識して、よりサステナブルな調達活動となるよう、種々の評価項目のもと活動を展開しています。特にプラスチック包装に関しては、商品の流通に必要な品質を確保しながらもコンパクトな包装となるようにサイズや材質を随時見直し、過剰包装とならないようできるだけ工夫をしています。加えて、植物由来のプラスチックであるバイオマスプラスチックの活用や紙などへの代替素材に変更する取り組みも積極的に進めています。
3. バイオマスプラスチックの採用は、2009年（平成21年）に開始し、以降も継続して採用商品を増やしています。すでに、「アルフォート」「レザンヌ」のトレーなどでバイオマスプラスチックの採用を行っています。また、「ブランチュール」のプラスチックトレーでは、かねてよりバイオマスプラスチック10%使用のものを、25%使用したバイオマスマーク25を刻印したものに変更する計画をすでに進めており、「プチポテト」シリーズの外包装とともに2020年（令和2年）夏の生産より実施していきます。
4. プラスチック製のものを紙などに代替する活動につきましては、「アルフォートミニチョコレート」や「ブランチュールミニチョコレート」での紙トレー化をすでに行っているほか、「もちもちショコラ」シリーズに梱包していたプラスチック製のフォークを、紙製のピックへ2019年（平成31年）2月より変更しています。
5. 包装の最小化として、使用するフィルムやトレーの厚みを薄くしプラスチック使用量を削減する取り組みでは、2019年（令和元年）11月にファミリーサイズ商品群の外装フィルムを約8%薄くし年間で約27トンのプラスチック削減を行ったほか、「ブランチュール」のプラスチックトレーにおきましても、何回もの薄肉化活動を行い現在では発売当初の厚みから35%以上の厚みを削減するとともに、上述の植物由来プラスチック25%配合を使用した改善を図っています。
6. 関連して、長年培ってきた菓子製造技術の応用や発展により、ストローとしても使用できるトッピングクッキー「コロネクッキー」を開発し、2020年（令和2年）1月より販売を開始しました。この商品を通じてプラスチック削減への新たな提案を行っています。
7. 加えて、包装材料の印刷時の作業環境改善や大気中への揮発性有機化合物の排出削減など複合的な環境保全を目指して、水性インキによる印刷を1999年（平成11年）より採用し、2015年（平成27年）には一般社団法人健康ビジネス協議会の「水性印刷商品認証制度」による認証マークを商品パッケージに印刷しています。現在では、水性インキ使用商品の比率は商品全体の約45%に拡大しています。

以上のように、継続した活動を通じて社会の一員としての役割と責務を果たしながら、持続可能な未来社会へのアプローチに取り組んでいます。

当社は1923年（大正12年）の関東大震災により地方への菓子供給がストップした窮状を見て、地方での量産工場による菓子作りを決意し、翌1924年（大正13年）に新潟県柏崎で創業しました。災害をきっかけとして事業を興した志をずっと継承しており、災害時等の状況下でもお役に立てる企業を目指し、安全・安心な商品づくりはじめとして種々の活動に取り組んでいます。これからも、食品製造企業として「品質保証第一主義」に徹するとともに、“心と体の健康づくり”をテーマに、ずっと続く笑顔を目指して活動してまいります。

以上

TOP > くらし > 亀田製菓とブルボンに「過剰...

公開日：2020/08/03(月)

亀田製菓とブルボンに 「過剰包装やめて」 高校生の訴えが炎上、 デマも拡散 メーカー 側は「惑わされない で」と励まし

井上真典

(2020年7月30日

付 東京新聞朝

刊)



つながる

「お菓子の過剰包装をなくしてほしい」とインターネットで署名を集めていた東京都内の私立高校1年の女子生徒(16)が7月28、29日、亀田製菓(新潟県)とブルボン(同)の東京オフィスを訪れ、集まった1万8737人分の署名を担当者に手渡した。提案には賛同の一方、生徒への中傷やデマも流れた。生徒は「声を上げただけで、汚い言葉でののしる人たちがいる」と心を痛めつつ、「署名を機にプラスチックごみの削減が進んでほしい」と願った。



あなたへのおすすめ



SNSの子どもの写真・動画は一生残る 児童ポルノに加工されたり、犯罪に巻き込まれることも… 気軽な投稿に注意



子どもの自慰に気づいたら 男子も女子もして当たり前、親は何を伝えればいい? 〈性教育ビギナース〉



〈子どもが頭を打ったら前編〉転んだのに「虐待の可能性」8カ月も離れ離れ目撃者なき家庭内事故で「一時保護」



夫に失望「いないほうがまし」…産後クライシスで離婚が頭をよぎる〈座談会・私たちの産後クライシス②〉

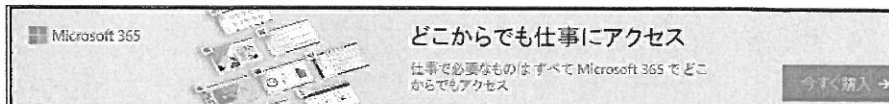
すくすくボイス

2020/08/17 みなさんの声を聞かせてほしいテーマはこちら!

- 【募集中】教えて!みんなのおすすめ 絵本・思い出絵本 抽選で図書カード3000円分プレゼント!
- 「産後クライシス」調査でわかった妻の本音 夫婦仲が悪化する原因は? 夫が理解すべきこと、社会全体でやるべきことは?
- 誰だって虐待と隣り合わせ「たいてしまった、怒鳴ってしまった…」すくすく編集チーム座談会

特集

ケガをさせたので、



広告

News • 最後の更新 2020年8月3日. 公開 2020年7月28日

「プラスチックの過剰包装、無くせませんか？」高校生の問いかけ。製菓会社2社は前向きな受け止め

お菓子などの「プラスチックの過剰包装をなくして」と高校生が呼びかけ、集まった1万8千筆の署名を提出しました。亀田製菓とブルボンの返答とは。



by Sumireko Tomita
富田 すみれ子 BuzzFeed News Reporter, Japan

●最初のコメントを書く



クッキーやおかきを食べている時に、プラスチック製のごみが多く出てしまっ
て一度は「もったいないな...」と思ったことがあるのではないのでしょうか？

一人の女子高校生（16）が、大手製菓会社2社に対し「プラスチックの過剰包
装を無くしてください」とのオンライン署名を集めました。

署名は約2カ月で1万8千筆以上集まり、7月28日、亀田製菓に提出されました。
29日にはブルボンに提出します。

女子高校生が署名を始めた理由とは。そして女性高校生から始まり、集まった
消費者1万8千人の声を、2社はどう受け止めるのか。BuzzFeed Newsは女子高
生と2社に話を聞きました。



署名を提出する前に、集まった署名を手に持つ女子高校生
Sumireko Tomita / BuzzFeed



広告

放送大学で資格取得

キャリアアップや生涯学習、資格取得のために、好きな科目だけを選んで学べる！放送大学

① X

もっと見る

以前から、プラごみなど環境問題に関心があったという彼女は、家でお菓子や煎餅を食べる時に、包装などで多くのプラごみが出てしまうことを残念に思っていたといいます。

「海洋プラごみ問題と動物についてのドキュメンタリーを見て、人間が出したごみが動物たちを傷つけていると知りました。タピオカブームなどでプラごみの問題もずっと気になっていて、使い捨てのプラを食品の包装にずっと使い続けていくんだろうか？と疑問を持ちました」

署名を立ち上げるにあたって、リサイクルの仕組みや代替品として出てきているバイオプラが本当に環境に良いのかななどを調べ、「そもそもごみを減らす努力が大切」と考えたといいます。



(個人名など、キャプチャの一部にぼかし加工をしています)

change



署名の提出先として亀田製菓とブルボンの2社を選んだのは、両社とも環境配慮型のパッケージなどのエコ対策を実施していて、大手で影響力もあるからといます。

「普段からその2社のお菓子をよく食べているということもありますが、大企業が変わったら、他の企業も変わるかもしれないと思いました」

実際、署名を始めると多くの人が賛同し、「環境に良い包装に変えてほしい」「脱プラを加速させたいですね」などのコメントが寄せられました。日本国内からだけでなく、海外からも多くの署名やコメントが集まりました。



Sumireko Tomita / BuzzFeed




一方で、この署名を取り上げた記事のコメント欄やTwitterでは「子どもや高齢者のために個装は必要」「長い期間食べたり、シェアするためにある。個装をなくさないで」などというコメントも多く寄せられ、中には女子高校生に対する誹謗中傷も多くあったといいます。

署名は、プラ製の過剰包装を無くしてほしいという内容で、一概に個装を撤廃するように求めているのではなく、包装を紙を使ったものにしたり、トレーを無くしたりなどの環境への配慮を求めています。

実際、BuzzFeed Newsの取材に対し、1万8千筆の署名が集まったことについては2社とも「我々がやってきた環境への取り組みがお客様に受け入れて頂ける自信につながった」（亀田製菓）、「当社が継続して取り組んできた活動の意味がさらに大きく、深くなった」（ブルボン）と、前向きに捉えています。

「2030年までに全商品を環境に配慮した包装へ」

**亀田製菓【公式】**
@Kameda_JP

「亀田製菓さん：プラスチックの過剰包装を無くしてください！」との、お声をいただいております... 実は、#亀田製菓は2030年までに全商品を環境に配慮した包装に変えていきます！小さなパッケージの大きなチャレンジ!! 詳細はコチラ▼
[@change_jp](https://t.co/mm1IMdPB4Z)
<https://t.co/jtBqAGYkMB>

02:00 AM - 10 Jun 2020

返信 リツイート お気に入り

@Kameda_JP

署名発足を受けて、亀田製菓は6月、公式Twitterアカウントでオンライン署名のページを共有するなどして、歓迎の姿勢を見せていました。

ツイートでは、「実は、亀田製菓は2030年までに全商品を環境に配慮した包装に変えていきます！小さなパッケージの大きなチャレンジ！」としました。

同社は近年、環境対策に力を入れていて、今後もその活動を推進していくといっています。

女子高校生が28日午後、都内の亀田製菓オフィスで署名を提出した際にも、同社担当者は1時間にわたり、女子高校生の話を聞いたり、同社の環境配慮への取り組みを説明したりしました。

女子高校生は話し合い終了後、「亀田製菓さんが消費者の目線に立って包装のあり方や環境対策について考えていらっしやると分かりました。エコパッケージに変更するまでの道のりやエコに対しての意識などを知れて、本当によかったです」と語りました。

「お客様の事を第一に考えながら環境配慮との両立を」亀田製菓



環境に配慮して包材使用料を抑えた「ECOパッケージ」

Sumireko Tomita / BuzzFeed



亀田製菓の経営企画部担当者はBuzzFeed Newsの取材に対し、「まず、高校生が自ら問題提起し、署名を集める実行にまで移しているその『思い』と『行動力』はとても凄いことだと思います」と話しました。

署名が1万8千筆集まったことに対しては、「環境問題へのお客様の意識の高まりを実感しています」とした上で、「2030年までに全商品を環境配慮型のパッケージに変更するという方針に基づき、着実に活動を推進していきたいと思えます」と語りました。

同社は、2015年からプラ製トレーを抜いたパッケージに変更したり、包装自体を小さくした「スリムパッケージ」により、プラスチックの使用量を30%削減するよう取り組んできました。

担当者は、環境対策についてこのように説明します。

「当社としては、食品企業としてお客様のことを第一に考えながら、『安心安全』『美味しさ』『利便性』といった部分は守りながら、いかに環境に配慮し、両立していくかを考え、ECO化に取り組んでいきたいと思えます」

「これまで以上にスピードを上げた対応が必要」ブルボンの考え



フィルムの厚みを薄くしてプラ削減に取り組んでいるパッケージ
Sumireko Tomita / BuzzFeed



広告

ブルボンの広報担当者はBuzzFeed Newsの取材に対し、今回の申し入れに対して「この度のプラスチックごみの削減の趣旨につきましては、全くその通りであり当社と方向性が一致するものと考えています」としました。

過剰包装の原因となっている、お菓子の個装やトレーの使用については「食品の保護や安全性の確保」「お菓子の特性に応じて商品の状態を保持するため」と説明。

個装については「少子高齢化社会や個食の時代的ニーズに合わせて外装を開封後の商品保存を可能にする」「シェアしたり、アレルギー表示を伝える」などの役割があると説明しました。「品質面からも個包装することで湿気っておいしくなくなってしまうことを防ぐ目的もあります」とします。

これまでも環境保全活動を続けてきた同社は、マイクロプラスチックなどによる海洋汚染などの問題を念頭において、「社会で提起されている商品の過剰包装防止や使い捨てプラスチック製品の代替化などについて、当社でもそれぞれの立場で今まで以上にスピードを上げた対応が必要であると考えています」としました。

また、今後の環境対策については、こう語ります。

「商品を流通させるために、包装に求められる必要な要件を満たしながら実施可能な新技術や工夫を取り入れ、継続して低減活動を行っていくことがより一層求められていると感じています」

環境配慮型包材を使用した商品



商品の包装材料の一部に植物由来のバイオマスプラスチックを使用したトレーを採用しています。強度を保ったまま厚みを低減することで、石油由来のプラスチック包材使用量の削減を図っています。今後も、環境対応包材の使用を拡大させ、環境負荷低減を図ります。

包装材料の薄肉化によるプラスチック使用量の削減



アルフォートFSをはじめとしたファミリーサイズシリーズの外装フィルムについて、フィルムの厚みを見直ししました。商品の適正な品質を維持しながら約8%のプラスチック削減を行い、シリーズ累計で年間約27トンの削減を図ります。

ブルボンの「環境報告書」より
ブルボン / Via bourbon.co.jp



ブルボンでは、省エネ活動や廃棄物削減、リサイクルなど様々な環境対策を実施していて、同社ウェブサイト上には、「環境報告書」が掲載されています。

2020年版の報告書では、「ブランチュール」や「ガトーレーズン」などの商品に、植物由来のバイオマスプラスチックを使用したトレーを使い、ファミリーサイズの「アルフォート」などの外装では、包装材料の厚みを薄くするなどの取り組みが紹介されています。フィルムの肉薄化では、約8%のプラ削減、シリーズ累計で年間約27トンの削減につながるといいます。

お菓子のパッケージの「紙製」への変更の動き

製菓会社や食品メーカーなどでは、個装のプラスチック削減の取り組みを相次いで発表していました。

ネスレ日本は2019年9月、「キットカット」の大袋タイプ5種の外装を全て、プラスチックから100%紙製に変更していました。

プラスチックから100%紙に素材が変わった、キットカット大袋タイプの外装
BuzzFeed



ネスレ日本によると、個包装を紙製にする試みもありましたが、製品が空気に触れやすくなり品質劣化が進んでしまうなどの問題があり、現段階では個包装はプラスチックのままだそうです。

今後、研究を重ね、いずれは梱包素材すべてをリサイクル可能なものにするということ。

実は紙のパッケージへの変更で、製作コストは上がっていました。担当者は報道陣に対し、地球環境を考えると「コストが上がって収益が圧迫されたとしても、やるべきだと判断しました」と語っていました。

UHA味覚糖



UHA味覚糖（大阪市中央区）は3月、「特濃ミルク8.2」などのパッケージ外装の構成材質の50%を紙に変更しています。

この変更によって、特濃ミルク3品で年間約14トンのプラスチック削減につながるそうです。

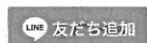
今後も、UHA味覚糖の主力商品のパッケージを、プラスチックから紙を使ったものへと変更していく予定ということです。

ご意見を募集しています

🐦BuzzFeed Newsでは、LINE公式アカウント「バズおぴ」 (@buzzopi) で、読者の皆様のご意見を募集しています。

日々の暮らしで気になる問題やテーマについて、皆さんの声をもとに記者がニュースを発信します。

情報や質問も気軽にお寄せください📩LINEの友達登録で編集部と直接やりとりもできます。様々なご意見、お待ちしております。



関連記事